

## 2 学校体育の充実

- (1) 教員の資質能力の向上と授業改善に向けた研修の充実
  - ア 悉皆研修や短期研修講座等（体育・保健体育）の充実
    - ア 短期研修講座
      - a 自信がつく水泳指導法講座

|                 |   |             |         |
|-----------------|---|-------------|---------|
| <b>目 的</b>      | 学習指導要領の趣旨に基づいた水泳授業の在り方について、講義や実技を通して理解を深めるとともに、段階的に泳法指導を学んだり各自が抱えている水泳指導上の課題やその解決策について実技を通して意見交換を行ったりすることで、実践的な指導力を高める。 |             |         |
| <b>期日・会場</b>    | 令和2年6月10日（水）<br>鴨池公園水泳プール   | <b>参加者数</b> | ————— 人 |
| <b>対 象</b>      | 全校種の教員  |             |         |
| <b>成果・課題</b>    | 新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止  |             |         |
| <b>令和3年度の予定</b> | 令和3年6月9日（水）<br>鴨池公園水泳プール  |             |         |

### 《令和元年度の様子》



【講義】



【泳法指導（平泳ぎ）】



【泳法指導（クロール）】



【研究協議】

b 小学校体育実技基礎講座

|                 |  |             |     |
|-----------------|--|-------------|-----|
| <b>目 的</b>      | 学習指導要領の趣旨に基づいた体育授業の在り方について、講義や実技を通して理解を深め、効果的な指導法を身に付けたり、各自が抱えている体育指導上の課題やその解決策について、実技を通して意見交換等を行ったりすることで、実践的な指導力を高める。 |             |     |
| <b>期日・会場</b>    | 〈前期〉令和2年6月24日（水）<br>県総合体育センター体育館<br>※ 新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止   |             |     |
|                 | 〈後期〉令和2年11月19日（木）<br>県総合体育センター体育館  | <b>参加者数</b> | 39人 |
| <b>対 象</b>      | 小学校及び特別支援学校の教員   |             |     |
| <b>成果・課題</b>    | 学習指導要領の趣旨に基づいた授業づくりや苦手な子供にも取り組みやすい実技指導の在り方を伝達することができた。   |             |     |
| <b>令和3年度の予定</b> | 令和3年6月23日（水）：県総合体育センター体育館<br>令和3年10月22日（金）：県総合体育センター体育館  |             |     |

**《内 容》**

**1 講義「学習指導要領の趣旨に基づいた授業づくり」**



学習指導要領の趣旨に基づいた授業づくりについて、新学習指導要領改訂のポイントや「指導と評価の一体化」を学びました。

どのような部分が大きく変わり、今後どのように指導・評価していけば良いのか分かりました。苦手な子供も活躍できる機会をつくり、「楽しい」と思わせるような授業を展開していきたいと思いました。

**2 実技「ゲーム・ボール運動系」**

実技「ゲーム・ボール運動系」では、授業ですぐに使える運動をたくさん体験しました。



【鬼遊び】

苦手な児童も喜んで参加できるような工夫をたくさん学ぶことができました。

実技を通して、児童の立場でルール等の工夫が考えられたので良かったです。



【バスケットボール】



【プレルボール】

苦手な児童にも得意な児童にも分かりやすくできるルール作りを学ぶことができました。正式ルールでなく、全員が楽しくできる手立てを考えていくことが大切だと知りました。



【ティーボール】

**3 実技「課題別学習」**

各自が抱えている体育指導上の課題について協議し、解決策等を共有しました。



グループの先生方の疑問や悩みの共有やそれに対するアドバイスを聞くことができました。

c 小学校体育授業づくり講座

|                 |   |             |     |
|-----------------|---|-------------|-----|
| <b>目 的</b>      | 学習指導要領の趣旨に基づいた体育授業づくり及び保健授業の進め方について講義や実技等を通して理解を深めたり，体育指導上の課題やその解決策について意見交換等を行ったりすることで，実践的な指導力を高める。 |             |     |
| <b>期日・会場</b>    | 令和2年7月30日（木）・31日（金）<br>県総合体育センター体育館   | <b>参加者数</b> | 31人 |
| <b>対 象</b>      | 小学校及び特別支援学校の教員  |             |     |
| <b>成果・課題</b>    | 受講者それぞれがもつ課題を明確にしてから実技，授業体験，模擬授業づくりへ取り組むことで，課題解決を図ることができた。  |             |     |
| <b>令和3年度の予定</b> | 令和3年7月29日（木）・30日（金）<br>県立青少年研修センター  |             |     |

《内 容》

1 講義「保健授業の進め方」「学習指導要領の趣旨に基づいた授業づくり」

保健授業の進め方や学習指導要領の趣旨に基づいた授業づくりのポイントを学びました。

保健の授業でも，知識重視ではなく，他教科と同様な授業展開を図る必要があると分かりました。授業例も示されていて分かりやすかったです。

学習指導要領の改訂のポイント等について分かりやすく説明していただき，すぐにでも意識を変えて体育の授業を展開していこうと思いました。

2 実技「体づくり運動」「模擬授業の考案・発表」

実技「体づくり運動」では，授業ですぐに使える運動をたくさん体験しました。



【体のバランスをとる運動】

体づくり運動の様々な動きについて，実技を通して学ぶことができました。早速実践していこうと思いました。

タオルの活用は，コロナ禍の今，距離をとるという視点からも効果的であるということを知ることができました。



【用具を操作する運動】

運動が苦手な児童や意欲的でない児童，見学者に対して「どのような指導をしていくのか」という視点でグループに分かれて模擬授業を考案し，発表しました。



【体づくり運動の授業体験】

授業の考案では，教師の立場，児童の立場（見学者，苦手な児童）で体験し，いろいろな視点で考えることができました。

授業体験では，3つの過程ごとに解説までしていただき理解しやすかったです。教師側が考えておくべきポイントがよく分かりました。



【模擬授業の考案・発表】

3 研究協議「体育指導上の課題解決」

同じ学校規模のグループで，体育指導上の課題を協議し，解決策等を共有しました。



同じような課題を抱えている先生方と協議することで，対応策について理解を深めることができました。

d 中高保健体育授業づくり講座

|                            |   |             |     |
|----------------------------|---|-------------|-----|
| <b>目 的</b>                 | 学習指導要領の趣旨に基づいた体育授業づくり及び保健授業の進め方について講義で学び実技を通して理解を深めるとともに、体育指導上の課題やその解決策について意見交換等を行うことで、実践的な指導力を高める。 |             |     |
| <b>期 日・会 場</b>             | 令和2年8月6日（木）・7日（金）<br>県総合体育センター武道館・体育館   | <b>参加者数</b> | 26人 |
| <b>対 象</b>                 | 中学校，高等学校及び特別支援学校の教員   |             |     |
| <b>成 果・課 題</b>             | 鹿屋体育大学から講師を招聘し，単元構造図について理解を深めることができた。体育と保健のより一層の関連を図った指導の充実を目指した講座内容を工夫する。                          |             |     |
| <b>令 和 3 年 度<br/>の 予 定</b> | 令和3年8月5日（木）・6日（金）<br>県総合体育センター体育館   |             |     |

《内 容》

1 講義「保健授業の進め方」

学習指導要領の趣旨に基づいた保健授業の進め方について講義を受けました。

生徒へ一方向に伝えるだけの授業ではなく，自ら課題を見つけ，考えて行動していく力を付ける授業内容の工夫が大切であることを学びました。



2 実技「体づくり運動の実技及び模擬授業の考案・発表」

体づくり運動の実技では，日常的に継続してできる運動を学びました。模擬授業では，実生活に生かす運動計画の行い方をジグソー学習を通してグループで考え，個に応じたプログラムの紹介をしました。

初めて経験する運動も多く，授業で取り入れたいと感じました。これまでよりも体づくり運動の領域が充実できるよう改善していきたいと思えます。



【体ほぐしの運動】

3 研究協議「学校体育経営上の課題解決」

体育経営上の課題について小グループに分かれて協議し，出された意見等を全体で共有し，解決策を考えました。

各学校において課題が多くあったが，話し合いや二日間の講義や実技でいい方向に解決することができました。



4 講演「学習指導要領の趣旨に基づいた単元計画の考え方」

単元構造図作成のねらいや内容等について講義を受けた後，グループごとに「指導と評価の計画」を作成しました。

現場の情報を把握された上での講演で，共感し納得することができました。体づくり運動の単元計画を実際の授業で活用していきたいと思えます。

e 中高保健体育実技講座

|                      |  |             |     |
|----------------------|--|-------------|-----|
| <b>目 的</b>           | 学習指導要領の趣旨に基づいた体育授業の在り方について、講義や実技を通して理解を深めるとともに、学校体育経営上の課題やその解決策について実技を通して意見交換を行うことで、実践的な指導力を高める。 |             |     |
| <b>期 日・会 場</b>       | 〈前期〉令和2年7月3日（金）<br>県総合体育センター体育館  | <b>参加者数</b> | 5人  |
|                      | 〈後期〉令和2年11月26日（木）<br>県総合体育センター体育館  |             | 22人 |
| <b>対 象</b>           | 中学校、高等学校及び特別支援学校の教員  |             |     |
| <b>成 果・課 題</b>       | 実技指導を通じて、学習指導要領の趣旨に基づく指導の工夫や授業改善を図ることができた。<br>新学習指導要領を踏まえた講座内容を工夫する。                             |             |     |
| <b>令 和 3 年 度 予 定</b> | 令和3年7月2日（金）：県総合体育センター体育館<br>令和3年11月25日（木）：県総合体育センター体育館   |             |     |

《内 容》

1 講義「学習指導要領の趣旨に基づいた体育の授業づくり」

学習指導要領の趣旨に基づいた授業づくりについて学びました。

全ての子供が楽しさや喜びを味わう授業づくりに努める必要があることを改めて感じました。学習指導要領の活用をもっと行い、指導と評価が一体化となるよう学びを深めていきたいです。



2 実技「前期：体づくり運動」「後期：陸上競技」

体づくり運動では、用具を使わずに日常的にできる運動の指導法について学びました。陸上競技では、各種目の段階的指導法について学びました。



【巧みな動きを高めるための運動】

リズムカルで取り組みやすい内容が多く、早速授業で試してみたいと思うものばかりでした。

タオルやボールなど身近なものを使って、すぐできるプログラムばかりでした。これからの体育の授業に生かしていきたいです。



【体の柔らかさを高めるための運動】



【走り幅跳び】  
(リズムアップの行い方)

生徒がよく悩んでいる踏み切り足の確認方法がわかったので、授業で伝えていきたいです。

記録にこだわりがちな陸上競技ですが、自己の記録をどのように伸ばしていくかという点で、段階的な指導を楽しく学ぶことができました。



【長距離走】  
(姿勢づくり)

イ 自主研修講座の充実  
 (7) 体育・保健体育指導法講座

|                      |  |             |     |
|----------------------|--|-------------|-----|
| <b>目 的</b>           | 講義や実技研修を行うことによって、受講者一人一人が抱えている体育指導上の課題解決を図り、指導力の更なる向上を目指す。                               |             |     |
| <b>期 日・会 場</b>       | 令和2年8月4日（火）<br>奄美市立伊津部小学校  | <b>参加者数</b> | 16人 |
| <b>対 象</b>           | 大島地区の全校種の教員  |             |     |
| <b>成 果・課 題</b>       | 講義・実技を通じて、校種を超えた授業改善についての意見交換をすることができた。講座の内容や日程等について、関係教育事務所や教育委員会と連携を図り、講座の実施について周知を図る。 |             |     |
| <b>令 和 3 年 度 予 定</b> | 令和3年8月24日（火）<br>西之表市立榕城小学校   |             |     |

《内 容》

1 講義「学習指導要領の趣旨に基づいた授業づくり」

学習指導要領の趣旨に基づいた授業づくりについて、新学習指導要領改訂のポイントや「指導と評価の一体化」の大切さを学びました。

学習指導要領の改訂の趣旨や評価の在り方などポイントを押さえて話をしていただき大変参考となりました。早速、学習指導要領を読み込みたいと思います。



2 実技「体づくり運動」

体づくり運動について、すぐに使える手軽な運動や用具の工夫等について学びました。



今回学んだ内容を2学期から取り組んで、児童に運動が楽しいと思ってもらえるような指導をしていきたいと思います。

体づくり運動の指導法に悩んでいたため、大変参考になりました。今回の講座で学んだことを生かしていきたいと思います。



体づくり運動を発達の段階に応じた実践的な内容で紹介していただき分かりやすかったです。今後の授業に取り入れ、運動が好きな生徒を育てていきたいです。

今後の学習指導や職員研修等で生かしていこうと思います。



(イ) 体育授業づくり来所研修

|                 |   |                        |      |
|-----------------|---|------------------------|------|
| <b>目 的</b>      | 生涯にわたって豊かなスポーツライフを実現することができる児童生徒を育成するために、体育授業の充実と教員の資質向上を図る。                |                        |      |
| <b>期日・会場</b>    | 令和2年8月19日（水）・20日（木）<br>県総合体育センター体育館   | <b>参加者数<br/>(延べ人数)</b> | 111人 |
| <b>対 象</b>      | 全校種の教員  |                        |      |
| <b>成果・課題</b>    | 夏季休業中に体育の研修を希望する先生方に、授業づくりや実技についての情報提供ができた。ニーズに応じた研修プログラムを組むことで、参加者数の拡大を図る。 |                        |      |
| <b>令和3年度の予定</b> | 令和3年8月18日（水）・19日（木）<br>県総合体育センター体育館   |                        |      |

《内 容》

第1回（8月19日）午前「共生の視点に立った授業づくり」  
午後「系統性を踏まえた指導法～ボール運動系・球技（ゴール型）～」

パラリンピック競技の体験，ボール運動系・球技（ゴール型）の実技を行いました。



【パラリンピック競技体験】  
（シッティングバレーボール）

実際に体験することで、ルールや指導方法が非常に分かりやすかったです。体育の授業で取り入れていきたいです。また、研修があれば参加したいと思いました。

シッティングバレーボールとボッチャは、初めての経験で、楽しく興味深く参加することができました。



【ボール運動系・球技】  
（ゴール型）

第2回（8月20日）午前「系統性を踏まえた指導法～ボール運動系・球技（ネット型）～」  
午後「系統性を踏まえた指導法～陸上運動系・陸上競技～」

球技（ネット型）では、ソフトバレーボール、バレーボールの段階的指導法について学びました。陸上運動系・陸上競技では、短距離走、投の運動、ハードル走、リレーの指導法について学びました。



【ボール運動系・球技】  
（ネット型）

陸上競技は、ただ走るだけでなく、走る中で楽しませる工夫があることを知りました。運動を苦手としている子供たちに対するアプローチの方法をたくさん教えていただきました。

身近な道具が教材として様々な活用ができることを知り参考になりました。バスタボーンは、コロナ対策をとりながら楽しめる球技として、すぐに授業に取り入れられると思いました。



【陸上運動系・陸上競技】

ウ 各種研修会や校内研修会等への職員派遣

|                 |  |
|-----------------|--|
| <b>目 的</b>      | 県立学校，市町村立学校，市町村教育委員会及び教育事務所が行う学校体育や社会体育の研修会等に，要請に応じて職員を派遣することにより，学校体育の授業改善や教員の資質能力の向上を図るとともに，スポーツ・レクリエーション活動等の振興を図る。 |
| <b>期日・会場</b>    | ○ 年間を通して（※講座等の開催時期により実施できないことがある。）<br>○ 申請者が指定する場所   |
| <b>対 象</b>      | 教員等  |
| <b>成果・課題</b>    | 講師派遣回数が減少傾向にある。総合体育センターだよりなどでの広報活動を積極的に行う。   |
| <b>令和3年度の予定</b> | 県立学校，市町村立学校，市町村教育委員会及び教育事務所が行う学校体育や社会体育の研修会等への講師派遣となる。<br>※ 県総合体育センターのホームページにより広報する。                                 |

《内 容》

派遣実績

| 研修会名                 | 期日       | 会場           | 人数 | 内容                     |
|----------------------|----------|--------------|----|------------------------|
| 第83期県消防学校初任教育生「体育理論」 | 4月17日（金） | 鹿児島県消防学校     | 66 | 体育理論（講義）及び体力向上（実技）の指導  |
| 始良市体力・気力アップ始良っ子育成研修会 | 8月28日（金） | 始良市役所加治木総合支所 | 27 | 講義及び体育実技「ボール運動系・球技」の指導 |

【研修の様子】



【第83期県消防学校初任教育生「体育理論」】



【始良市体力・気力アップ始良っ子育成研修会】



(2) 学校体育に関する資料の提供（ホームページ・フェイスブック）

|                         |  |
|-------------------------|--|
| <p>内 容</p>              | <p><b>1 お知らせ</b><br/> 「学校体育に関する研修の充実」に役立つ講座等の案内<br/> ○ 夏季自主研修講座「体育授業づくり来所研修」<br/> ○ 職員派遣事業<br/> ○ 年間事業計画</p> <p><b>2 事業紹介</b><br/> 講座や研修会の紹介等</p> <p><b>3 事業結果</b><br/> 「学校体育に関する研修の充実」に役立つ講座や研修会の結果紹介（活動の様子、参加者の感想など）<br/> ○ ホームページ掲載例（体育授業づくり来所研修から）</p>  <p>○ フェイスブック掲載例（動画紹介）</p>  <p><b>4 指導資料</b><br/> 体育・保健体育の授業づくりや集団の仲間づくりに活用してください。<br/> ○ 学校体育実技指導資料<br/> 【小学校体育科】「単元の評価規準」作成のための参考資料<br/> 【中高保健体育科】「指導と評価の計画作成シート」等<br/> ○ 「体づくり運動」実践指導資料</p> |
| <p>ホームページ<br/>アドレス</p>  | <p><a href="http://www.pref.kagoshima.jp/kikan/taiku/index.html">www.pref.kagoshima.jp/kikan/taiku/index.html</a></p>  |
| <p>フェイスブック<br/>アドレス</p> | <p><a href="https://www.facebook.com/sotaise.kagoshima">https://www.facebook.com/sotaise.kagoshima</a></p>   |

### 3 生涯スポーツ振興のための調査

本調査は、県民のスポーツ活動等に関する実態や意識等の現状を把握するため、県下全43市町村の県民を対象に、年齢構成や男女比率が均衡するよう抽出して実施した。

#### (1) 調査の目的

- ア 県民のスポーツ活動等に関する実態調査を行い、今後の生涯スポーツの振興施策の基礎資料とする。
- イ 県民に調査結果を公表し、「スポーツをとおして、支え合うことのできる活力ある社会づくり」の気運を高めるとともに、生涯スポーツ振興上の課題解決に生かす。

#### (2) 調査項目

- ア 運動・スポーツへの関心について  
「する」「みる」「ささえる」の三つの観点から
- イ 地域とのつながりについて
- ウ 総合型地域スポーツクラブ（コミュニティスポーツクラブ）の認知度及び加入に対する意向について
- エ その他
  - ・ 国民体育大会「燃ゆる感動かごしま国体」への関心
  - ・ 全国障害者スポーツ大会「燃ゆる感動かごしま大会」への関心

#### (3) 調査対象

- ア 平成30年度「市町村別、男女別人口及び世帯数、人口動態（県企画部統計課）」に基づき、各市町村のサンプル数を算出した上で、18歳以上の2,724人を対象に実施した。
- イ 調査対象の世代区分及び年齢区分については、「スポーツ振興かごしま基本方針」（平成23年7月策定）に準じて設定した。

（サンプル数内訳：人）

| 区 分 |    | 青年期    | 壮 年 期  |        |        | 高齢者   |
|-----|----|--------|--------|--------|--------|-------|
| 年 齢 |    | 18～34歳 | 35～44歳 | 45～54歳 | 55～64歳 | 65歳以上 |
| 人数  | 男  | 454    | 152    | 151    | 151    | 454   |
|     | 女  | 454    | 152    | 151    | 151    | 454   |
|     | 小計 | 908    | 304    | 302    | 302    | 908   |
|     | 合計 | 2,724  |        |        |        |       |

#### (4) 調査方法

- ア 回答方法  
選択式ただし一部自由記述式
- イ 依頼先  
各市町村教育委員会教育長及び関係市長（社会体育担当主管課扱い）

#### (5) 調査結果及び考察

鹿児島県総合体育センターホームページ>資料等（発行物・調査結果）に掲載。



【HPQRコード】